科目名称	データサイエンス入門 ＜国文クラス＞	授業コード	2A159
シラバスナンバー	0N5-100-L20	曜日時限	時間割外
担当教員	須藤　和敏／今井　悠人／藤井　宏次／杢倉　修介	開講学期	2026年度春学期
対象学年	カリキュラムにより異なります。	教室	
キャンパス区分	九段キャンパス	単位数	2.00単位

ディプロマポリシーとの関連

下記URLを参照してください。
https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_diploma.html

身につく能力

A	○	B	○	C		D		E		F	

授業の概要・授業の目的

近年、実社会の至るところでAIが利用されており、その利活用領域は今後ますます増えていくと予想されます。
そのような社会情勢に対応するためには、AIやデータサイエンスとは何か、どのように利用され今後どのように発展していくのかを理解する必要があります。
オンデマンド形式の講義・演習を通じて、利用者側の立場からAI・データサイエンスの知識習得・理解が得られます。

到達目標

・AIやデータサイエンスが社会でどのように活用されているかを理解できる。
・データ分析の基本的な方法が理解できる。
・情報倫理に基づいた適切なデータ利用ができる。

キーワード	履修条件
AI、データサイエンス、データ分析、情報倫理、ビッグデータ	特になし

アクティブラーニングの内容

コンピュータの操作・実習

評価方法

平常点（授業内課題など）50%＋期末課題50%

課題等に対するフィードバックの方法

個別に対応します。

授業形式	オンデマンドによる講義・演習形式
ルーブリック表等資料	
テキスト	特になし
参考文献	必要に応じて授業中に紹介します。
その他連絡事項	動画視聴期間、課題提出期間を厳守すること。
担当教員への連絡方法	藤井(hr-fujii@nishogakusha-u.ac.jp)、今井(y-imai@nishogakusha-u.ac.jp)

実務経験のある教員による授業

授業計画			
回数	授業計画	授業外における事前学修方法	授業外における事後学修方法
1	データサイエンスとは	データサイエンスについて、理解していること・していないことを把握しておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
2	社会で起きている変化	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
3	社会で活用されているデータ	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
4	データ・AIの活動領域	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
5	データ・AI利活用のための技術	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
6	データ活用とは	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
7	データ・AI利活用の現場	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
8	データ・AI利活用の最新動向	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
9	データを読む（1）－データの代表値－	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
10	データを読む（2）－相関と因果－	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
11	データを説明する	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
12	データを扱う	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
13	データ・AIを扱う上での留意事項（1）－情報倫理－	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
14	データ・AIを扱う上での留意事項（2）－バイアス－	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）
15	データを守る上での留意事項とまとめ	該当箇所について、あらかじめ情報を収集し、わからない部分について調べておく（2時間）	学習したことを、自分自身で再度実行して復習する（2時間）